

「一登戸研究所の歴史と地域の歴史を振り返り、未来を見据える—日中戦争からウクライナ戦争を考える」

2022年2月に始まったウクライナ戦争（ロシア軍によるウクライナ侵攻）は、全世界に大きな影響を与え、一刻も早い平和の回復が求められています。

ウクライナ戦争は、「ハイブリッド戦争」などとも呼ばれ極めて現代的な戦争ですが、歴史的に比較してみると、日本がかつて行った日中戦争（1937年～1945年）とウクライナ戦争は、様々な点で類似しています。

例えば、日中戦争もウクライナ戦争も、攻め込んだ側は、直近の「成功事例」（日本の場合は満州事変と「満州国」建国、ロシアの場合はクリミア併合）を繰り返そうとしたこと、また相手を一撃のもとに屈服させることができると目論んだもののそれが大きく外れた点でも類似しています。また、戦争をきっかけに世界が大きく2つに分裂した（しつつある）点でも似通っています。

かつて多摩区東三田（現在の明治大学生田キャンパスの地）にあった陸軍の秘密戦研究所「登戸研究所」は日中戦争中の秘密戦において重大な役割を担いました。

本講演では、登戸研究所が果たした役割を振り返り、ウクライナ戦争と日中戦争を比較検討しながら、両方の戦争の類似性と、戦争がもたらしつつある（もたらした）危険な状況を考えてみたいと思います。



講師 山田 朗（やまだ あきら）

（明治大学平和教育登戸研究所資料館館長，明治大学文学部教授）

プロフィール

1956年大阪府生まれ。東京都立大学大学院博士課程単位取得退学。博士（史学）。日本現代史・軍事史を専攻。主な著書に、『大元帥・昭和天皇』（新日本出版社）、『兵士たちの戦場』（岩波書店）、『日本の戦争』（新日本出版社）、『軍備拡張の近代史』（吉川弘文館）、『世界史の中の日露戦争』（吉川弘文館）などがある。



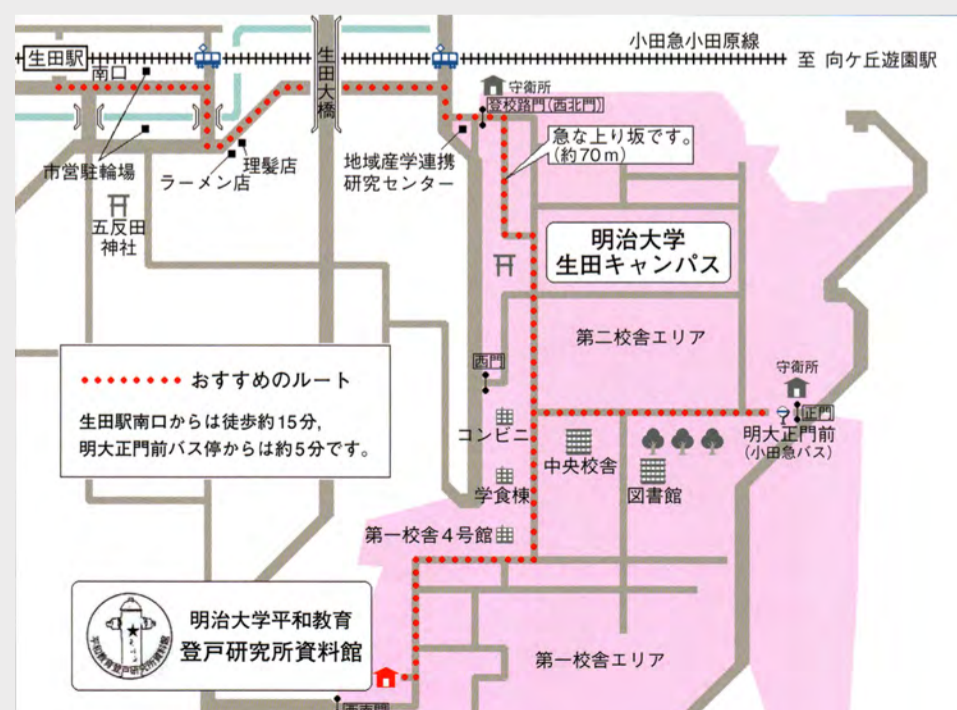
登戸研究所保存の会について

明治大学生田キャンパスに残る登戸研究所の遺跡を保存し活用していくことを目的に、川崎市民を中心として2006年に結成しました。明治大学平和教育登戸研究所資料館が開設する以前から、市民を対象に登戸研究所遺跡の見学会や解説会を行っています。

お問い合わせ ▶ 明治大学平和教育登戸研究所資料館

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1
明治大学生田キャンパス
TEL/FAX：044-934-7993
E-mail:noborito@mics.meiji.ac.jp

Web



- 小田原線生田駅南口徒歩 15 分
- 向ヶ丘遊園駅北口より小田急バス「明治大学正門前」行き終点下車

明治大学平和教育登戸研究所資料館について

川崎市多摩区にある明治大学生田キャンパスは戦前日本陸軍の秘密戦を担っていた「登戸研究所」の跡地です。唯一現存する研究棟が2010年3月に「明治大学平和教育登戸研究所資料館」として開館しました。登戸研究所は秘密戦という面から時には非人道的な研究も行っていましたが、当館ではすべての事柄を記録にとどめ展示することを通じ、地域の皆さまと連携して平和教育・歴史教育・科学教育を行っています。



開館時間：10：00-16：00

休館日：日曜～火曜、祝日、2022/8/10～8/16、12/26～2023/1/10、1/14
入館料：無料

現在登戸研究所資料館を見学していただくには事前予約が必要です。見学を希望される方は必ず前日16時までに左記連絡先に氏名（見学希望者全員分）、希望日時、連絡先を添えてご予約下さい。

なお、定員は毎時10名です。